

CONTENTS

 国際ロータリー会長
からのメッセージ
 Sequence
01

 ガバナーメッセージ
 Sequence
02

 会員増強・新クラブ結成
推進月間に寄せて
 Sequence
03

 リバウンド交換学生紹介
 Sequence
04

 [行事報告1]
ローターアクト交流会
 Sequence
05

 [行事報告2]
カルガリー国際大会に参加して
 Sequence
06

 新入会員
 Sequence
07

 ガバナー候補の推薦について
/お知らせ
 Sequence
08

 地区大会のお知らせ
 Sequence
09

 地区大会の概要
 Sequence
10

 コーディネーターニュース
 Sequence
11

 2025年6月会員数報告
 Sequence
12

Sequence

01 国際ロータリー会長からのメッセージ


 2025-26 RI会長
フランチェスコ・アレツツォ
イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属

親愛なる友人の皆さま

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行きの飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てみましょう：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、未長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

 2025-26年度国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

 R.I.D 2550 tochigi
Facebook QR

フランチェスコ・アレツツォ 国際ロータリー会長 メッセージ

▶ PDF、視聴、動画ダウンロード

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

親愛なるロータリークラブ会長の皆さまへ

このたびRI理事会は、6月8日にマリオRI会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI章典およびその方針に基づき、理事会は2023年8月に開催された国際ロータリー会長指名委員会で検討された候補者の中から、フランチェスコ・アレツツォ氏を新たな会長エレクトとして選出いたしました。

2025年2月の国際協議会で発表された、2025-26年度会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーにより分断が進む現代社会において、ロータリー会員が結束し、奉仕プロジェクトを通じてさまざまな背景(人種、宗教、職業)を超えて人々をつなぐ力となることを呼びかけるものです。



さて、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。ロータリーが世界中で奉仕の輪を広げ続けていくためには、私たち一人ひとりの力と、より多くの仲間の存在が欠かせません。

私たちのクラブに新たな息吹をもたらし、多様な視点と経験を共有してくれる新会員の参加は、クラブの未来をより豊かで持続可能なものとします。また、新しいクラブの設立は、地域社会のニーズに的確に応え、ロータリーの価値を広げていくための強力な手段となります。

皆さまへのお願い

- ・まずは、身近な方にロータリーの魅力を語ってみてください。
- ・クラブ内のつながりを深め、退会防止にも努めましょう。
- ・若い世代や、多様な職業・背景の人材にも門戸を開きましょう。

会員増強は「数」だけの問題ではなく、「質」と「意義」を伴う活動です。「ロータリーに入ってよかった」と思える体験を提供することが、最も効果的な会員維持策であり、魅力あるクラブづくりの第一歩です。

この月間を、未来のクラブを形づくるための行動の月とし、皆さまの情熱と創意に心より期待しております。



「ロータリーは人をつくり 友情を育む」

一人でも多くの仲間と共に行動し、友情を深め、皆さまの人生がさらに豊かなものになりますよう祈念申し上げます。

国際ロータリー第2550地区

ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

Sequence

03

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

2025-26年度デ・カマルゴRI会長は、ロータリー国際協議会で、成長・奉仕・つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」と呼びかけ、スピーチ冒頭に「組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠である」と述べられ、更にその大部分が会員増強に関する内容でした。会員増強への熱意が込められたスピーチでした。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。二十二修ガバナーの行動目標のひとつに「純増2名以上」とあります。現在、日本の会員数は*83,109人(ピーク時の3分の2)まで減少しています>(*ロータリーの友HP資料館より)2550地区も減少傾向にあります。栃木県単独で2550地区を維持可能な【1100人】は目の前です。そこで、^{デッドライン}時間に縛られない「ロータリーEクラブ」や、リジョインの推進とサクセッションの早期入会、衛星クラブの活用で熟男のみならず若者や女性や学生にもアピールできる2550地区に変え、会員を増やしましょう!

次に、会員増強の「強」の部分「強いクラブ」を作りましょう!キーワードは「クラブ(またはグループまたは地区)での体験」です。体験を通して①魅力ある(強い)クラブへ変わります。②自分の居場所を見つけた会員はクラブから離れません。

当地区では、毎年100名以上が入会するも、退会者が上回ります!新入会員の1割は1年、約5割が3年目の壁を越えられません。入会直後から、立派なロータリアンの育成に力を入れましょう。「(職業奉仕)あなたしかできない奉仕は何ですか?私は・・・」、「私たちのクラブは地域に何を奉仕していますか?今年は・・・去年は・・・」等々話してみてください。自らを知り、仲間を知る、クラブの魅力を知った時には、「新入会員」ではなくロータリーを語り合い楽しむ「生涯の仲間」になっているはずです。



最後に、会員増強は、必ず会長を先頭にクラブ全体で取り組んでください。また、地区クラブ活性化セミナーにご参加頂くとともに、地区会員組織委員会をぜひご活用ください。

会員組織委員長 熊本 泰久
(宇都宮陽北ロータリークラブ)

トップページへ
戻ります



熊本 勇太郎

24-25年度 Rotex会長

2018-2019年度 フランス1730地区派遣
(宇都宮RC推薦)

Rotaryの交換留学が学生に与える影響は計り知れません。それは単に言語や異文化理解に留まらず、現地の方々や交換学生との関わりの中、代え難い繋がりや向上心、大きな目標を与えてくださります。それら全ての感覚が道標となって、今日の我々の原動力となっています。

そんな私たちRotexには、日本そして栃木を軸として世界を見聞し、社会に還元する責任があります。個人の目指すべき場所は異なりますが、ただ確実に地域社会を支えるRotaryの一員として社会貢献に努めていかねばなりません。そのために、いま一度青少年交換の意義を見つめ直し、皆様との関係を再構築する必要があります。

皆様からの多大なるご支援、改めて感謝申し上げます。ご期待に応え、青少年交換を支援して良かったと思っていただけるよう、今後も活動に励んでまいります。

内藤 舞子

24-25年度 Rotex副会長

2018-2019年度 イタリア2032地区派遣
(烏山RC推薦)

派遣前はイタリア語も全く話せず、「ピザやパスタの国」に行くという漠然とした印象しか持っていませんでした。しかしサルデーニャ島での生活を通じ、独自の歴史や文化、家族や食卓を大切にしている人々の姿に触れ、島ならではの魅力を知ることができました。観光地の華やかな面だけでなく、少子化や就職難といった地域の課題にも目を向ける視点を持つようになったのは、ロータリーの皆様の手厚いご支援のおかげです。今ではサルデーニャは私の“もう一つの故郷”となり、将来はサルデーニャと地元烏山の双方に貢献していきたいです。

**上野 開美**

24-25年度 Rotex理事

2018-2019年度 台湾3462地区派遣 (宇都宮南RC推薦)

台湾という複雑な歴史的背景をもつ場所で過ごした一年間は、私の人生を大きく変えました。台湾で暮らし、台湾人や他の国からの交換学生と交流することで、東アジアという大きな括りの中で『国』『民族』『平和』とは何かを考えるようになりました。特に印象に残っているのは高校の课外授業で行った実弾射撃による軍事訓練です。一発ごとに肩に伝わる弾丸の重さを忘れることはありません。

交換派遣をきっかけに実感した“平和”というもの。今後も“平和”とは何かを考え、実行し、未来の青少年たちが変わらずに交流を続けられるように努力していきたいと思います。





早乙女 澄伶

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 台湾3470地区派遣
(宇都宮北RC推薦)

温かな人情と悠長な歴史が息づく南国で過ごした一年は、どの瞬間を思い出しても美しい記憶で溢れています。なかでも特に印象に残っているのは、第二ホストファミリーのおじいさんとの出会いです。

幼い頃に日本統治時代を経験され、当時耳にした「原爆」という言葉の衝撃、そして後に日本を訪れ、原爆ドームを間近に見たとき、気づけば自然と涙がこぼれていたこと。そんな記憶を辿りながら、「こうして日本の若者が台南に来てくれて、日本語で話ができるのが嬉しい」と流暢な日本語で語っていただきました。

青少年交換は、これからの国際社会の基盤をつくる10代が身をもって世界と自己の距離を認識できる最初の一步だと考えます。今後も民間レベルでの草の根交流を継続し、このプログラムを通して学んだことをどう社会に還元できるか考えつつ、私に出来ることを模索してまいります。



佐々木 華

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 フランス1730地区派遣
(宇都宮RC推薦)

私は留学を通して、非常に充実した時間を過ごしました。ホストファミリーや友人に恵まれたことに加え、何よりも「自分らしさ」を貫けたことが大きかったと思います。その結果、自然体で過ごすことができ、心にも余裕が生まれました。もちろん、言葉の壁や思うようにいかないこともありましたが、あまり気にせず前向きに挑戦を続けました。

思い出の一つに、フランスに到着してすぐ、ホストファミリーと険しい山でジップラインに挑戦したことがあります。超高所恐怖症の私は、何度も試そうとしたものの、装備をつけたまま「I can't do it!」と連呼するばかり。そんな自分に「本当にこのまま留学生活を始めていいのか?」と自問自答しました。そんな時ふと、「最初から諦めてたまるか!」という想いが湧き上がり、思い切って挑戦。ジップラインを終えた後は、もう一度やりたいと思うほど爽快で、その達成感は今でも忘れられません。

この時から「絶対に負けたくない」という気持ちが強まり、留学において私の原動力になったと改めて感じます。人それぞれ原動力となるものは異なりますが、それを大切に、次のアウトバウンドの皆さんにも頑張ってもらいたいです!



トップページへ
戻ります





鈴木 ひかり

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 フランス1680地区派遣
(西那須野RC推薦)

留学を通して学んだことは挙げたらきりがありませんが、私が特に新鮮で、良いと感じた考え方があります。それは、辛いこともまた一興だということ、松下幸之助さんの「心配またよし」の考え方です。

私は留学中、アキレス腱を切るアクシデントに遭いました。限られた10か月間の留学で、ほかの学生が様々な場所に足を運んでいる間、私は治療やリハビリのため何もできず非常に焦りました。しかし、そんな辛いときもまた人生の一要素だと考えると、心が軽くなりました。私のペースで良いのだと気づくことができました。これを学び、私はまた一つ器の大きい人間になれたと感じます。そして、留学を通して学んだ多くのことを生かし、将来社会に貢献できる人材に成りたいと思っています。

このような経験をするチャンスをくださったロータリーにはとても感謝し、恩返しをしていきます。本当にありがとうございました。

熊本 拓実

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 イタリア2060地区派遣
(宇都宮RC推薦)

青少年交換留学に参加したきっかけは、幼い頃から父に連れられてロータリーの行事に参加した経験です。初めは留学に興味がなく、ただ交換学生やインターアクトのお兄さんたちと活動をしているだけでした。しかし日々、先輩や留学生の頑張る姿を見て、「カッコいいなあ…あんな風になりたいなあ」、「一年間頑張ろうかな」と感じ、交換留学を決心しました。

一人での一年間の留学に対し不安はありましたが、いざ行ってみるととても楽しく、良い経験と悔しい経験を重ねました。文化の違いやホームシックから、「日本に帰ってうどんが食べたい！みんなに会いたい！」と思ったり、イタリア語がうまく話せない、理解できずに落ち込んだりしたこともありました。

一方でそれを繰り返すように、ホストファミリーの方々や友達と過ごした大切な日々があり、新たに成長することができました。長いと思っていた一年間は思い出で埋め尽くされ、まさに一瞬でした！

この一年を支えてくれたホストファミリーやロータリーの方々、沢山の友達、父と母には感謝してもしきれません。

次は建築家になる！という夢に向かって、この経験を糧にひたむきに進んでいきます！





西館 春稀

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 デンマーク1480地区派遣
(宇都宮90RC推薦)

留學生活の学びの中で一番印象的だったことは、コミュニケーションのあり方です。デンマークへ渡った当初、僕は英語もデンマーク語も拙く、自分の気持ちを相手に伝えることに苦勞をしました。そこで僕は、「言葉でうまく表せないなら、自分の体を使って気持ちを伝えよう」という考えに辿り着きました。その結果、僕はホストファミリーや現地の友だちとより親密な関係になりました。

この経験から、コミュニケーションの面白さを知りました。コミュニケーションは必ずしも言葉である必要はなく、様々な手段がある。単に言葉は、様々な存在するコミュニケーションの取り方の一つに過ぎないのだと学びました。これらの気づきを与えていただいた、ロータリーの皆様、家族には感謝でいっぱいです。



仲田 桃華

24-25年度 リバウンド
2023-2024年度 台湾3461地区派遣
(宇都宮北RC推薦)

台湾での生活を通じ、日本にいただけでは気づけなかった、世界の温度と陰影に次々と出会いました。日本の文化や言語に好意を寄せてくれる方も多く、その温かさに救われることも多くありました。しかし一方で「アジア人」として一括りにされ、説明のつかない偏見や距離に違和感を覚える場面にも、幾度となく直面いたしました。

差別とは決してどこか遠い国の不幸な出来事などではなく、実に私達のすぐそばにもひっそりと存在しております。自分がその波に巻き込まれる一方で、知らず知らずのうちに他者に線を引いている自分が存在しているという現実気付かされました。人間の本能に刻まれた恐れや無知が、時に差別や分断を生むのやもしれません。

それでも、無知ゆえに生まれる差別や偏見は、知ることによって確かに減らすことができると信じております。だからこそ私は、世界の現実を日本に、また、日本の姿を世界に、丁寧に伝えていきたいと考えるようになりました。日本に住んで映像を見ているだけでは見えてこない現実も多くあるでしょう。言語や文化の違いを越え、互いを理解し合える歩みの架け橋となり、対話と共感を生み出すことが私の将来の夢です。



トップページへ
戻ります



Sequence

05

[行事報告1] ローターアクト交流会

今回2550地区のローターアクト親睦会を開催するにあたり、ロータリアン様やアクターの方々など様々な方のご支援、ご協力をいただきまして改めてロータリーの友情や助け合いのころというところに胸を打たれました。

親睦会ではボウリング大会と食事会を催し、ローターアクトどうしが楽しみながら交流を深めることができました。

新しく設立した文星芸大付RACの方にも参加いただき、これからの2550地区の交流がさらに深まり、活動が活発化していくことを感じさせる会となりました。

活動日2025/06/28

作新学院大学RAC代表
大津 真優

Sequence
06

〔行事報告2〕 カルガリー国際大会に参加して

このたび、6月21日から25日までの期間で、カナダ・カルガリーにて開催されたロータリー国際大会に参加する貴重な機会を得ました。会場となったスコシアバンク・サドルドームは、1983年に建設され、1988年冬季オリンピックではアイスホッケーやフィギュアスケートの競技会場としても使用された、NHLカルガリー・フレイムスの本拠地です。そんな歴史あるアリーナに、世界各地から集まったロータリアンが一堂に会する



光景は圧巻で、まさにロータリーの理念である「超私の奉仕」を体現するものでした。

友愛の館では、貧困削減、教育支援、環境保護、ポリオ根絶など、ロータリーが世界規模で取り組む多様なプロジェクトが紹介され、どの展示からも現場の熱意と努力が伝わってきました。こうした活動が、目に見えるかたちで社会にインパクトを与えていることを実感し、私自身の奉仕への意識も新たになりました。

また、大会期間中は多くの国や地域のロータリアンと交流する機会がありました。言葉や文化の壁を越えて、「より良い社会を築きたい」という共通の志が、確かな絆となっていると感じ、大きな励みとなりました。

大会前日には、当地区のロータリアンとそのご家族計14名でガバナーズ・ナイトに参加し、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。このことは、帰国した現在でも大変印象に残っています。

今回の大会参加は、私にとって視野を広げると同時に、ロータリアンとしての使命と責任を改めて認識するきっかけとなりました。今後はこの経験を地域の活動に生かし、より積極的に奉仕に取り組んでいきたいと思ひます。

来年度は台北にて、2026年6月13日から17日の期間で国際大会が開催されます。地区内の多くの皆さまとともに、台北で再びお会いできることを楽しみにしております。



地区幹事 田村 吉幸

(宇都宮北ロータリークラブ)

トップページへ
戻ります

Sequence

07 新入会員

【新入会員紹介】



田沼 RC

佐野信用金庫 田沼支店
支店長**豆田 記一**

(まめだ のりかず) 2025.2.1入会

会員の皆様と親睦を深め、地域社会の
発展に貢献していきたいと思ひます。

田沼 RC

割烹 紅楽
代表**小林 正巳**

(こばやし まさみ) 2025.6.2入会

今年度より、入会させていただく事に
なりました。よろしくお願いいたします。

足利東 RC

マルニ商事(株)
代表取締役**木村 知巳**

(きむら ともみ) 2025.6.10入会

額縁を製造販売している会社を経営して
います。皆さん、よろしくお願いします。

足利東 RC

(株)みずほ銀行 足利支店
支店長**早崎 卓史**

(はやさき たかふみ) 2025.6.24入会

2025年4月に足利に着任致しました。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

足利東 RC

明治安田生命保険相互会社

阿部 由佳

(あべ ゆか) 2025.6.24入会

よろしくお願い致します。



西那須野 RC

日本生命保険相互会社
営業部長**大和 良輔**

(やまと りょうすけ) 2025.7.1入会

大和と申します。どうぞ宜しくお願い
致します。

大田原 RC

(株)栃木銀行 大田原支店
支店長**浅野 尚史**

(あさの たかし) 2025.7.3入会

宜しくお願い致します。



宇都宮東 RC

とちぎんTT証券(株)宇都宮東支店
支店長**橋本 貴行**

(はしもと たかゆき) 2025.7.8入会

誠心誠意を信条に伝統ある会へ
貢献致します。

Sequence

08 ガバナー候補の推薦について / お知らせ

2028-29年度 ガバナー候補者推薦について

ガバナー 二十二 修

ガバナー指名委員会委員長 三井 福次郎

国際ロータリー細則第12条ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで2028-29年度ガバナー候補者を推薦することができます。2025年10月10日までにガバナー指名委員会委員長宛、文書にて(書式任意)提出して下さい。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第16条16.010ガバナーノミニーの資格条件及び16.020ガバナーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニーの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第12条12.030.4における規定に基づき地区内クラブによって推薦された候補者に限定されるものではありません。ご了承ください。

*必要書類

- ・クラブ会長・幹事の署名入り推薦書
- ・クラブ幹事によって証明された、クラブにて推薦する旨の決議文
- ・候補者の略歴書及び写真1葉

*提出先

ガバナー事務所内 ガバナー指名委員会委員長 三井 福次郎 宛

鹿沼ロータリークラブ例会場
変更のお知らせ

鹿沼商工会議所 3階大会議室
栃木県鹿沼市睦町287-16 電話 0289-65-1111
開催曜日と時間の変更はありません。

地区内・外 主要行事予定

▶ 地区ホームページへ

送金カレンダー

▶ 地区ホームページへ

クラブ定例報告カレンダー

▶ 地区ホームページへ

例会場/事務所一覧

▶ 地区ホームページへ

ガバナー公式訪問日程表～お願い～

▶ 地区ホームページへ

地区組織図

▶ 地区ホームページへ

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ 「ハイライトよねやま」へ

トップページへ
戻ります

Sequence

09

2025-26年度 地区大会のお知らせ



2025-26
地区大会実行委員長
上野 一典
(宇都宮北RC)

ロータリアンの皆様、2025-26年度のRI2550地区地区大会は、県都宇都宮におきまして、二十二修ガバナー主催で開催されます。今年度のテーマは「交流を拡め、友情を深めよう。」です。この度の地区大会は、日本全国はもとより海外からのお客様も多数お迎えし、姉妹地区提携調印式も予定されており、国際色豊かな大会になるものと期待されます。

二十二修ガバナーは、私ども宇都宮北ロータリークラブとして3人目のガバナー輩出となりました。また本年度は、当クラブにとりましても、創設40周年の記念すべき年であり、会員も二重の喜びであふれております。

皆様ご存じのように、宇都宮には、多くの誇るべき名物がございます。

◎「カクテルの街」

(=カクテル日本一に輝く多くのバーテンダーを輩出)

◎「餃子の街」

(=消費量日本一を争う おいしい餃子)

◎「JAZZの街」

(=JAZZトランペッター渡辺貞夫さんは宇都宮のご出身)

どうかいろいろな当地ならではの雰囲気をご堪能いただき、楽しい思い出をお持ちかえりいただければと存じます。

宇都宮北ロータリークラブ会員をあげて、おもてなし致しますので、ぜひお越しください。

“宇都宮で お会いしましょう。”



地区大会PR動画

Sequence

10 地区大会の概要

9/26(金) 記念ゴルフ大会 □会場／宇都宮カンツリークラブ

9/27(土) 会長・幹事会/地区指導者育成セミナー/RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 □会場／ベルヴィ宇都宮

●会長・幹事会

13:00 受付・登録開始
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
開会の言葉
RI会長代理並びにご来賓の紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
地区会計収支報告、監査報告、承認
2024-2025年度各種表彰
米山記念奨学会及びロータリー財団

14:45 閉会

●地区指導者育成セミナー

15:00 開会
ガバナー挨拶
地区ラーニングファシリテーター挨拶
並びに育成セミナー講師のご紹介
講演 RI会長代理
質疑応答、謝辞

16:30 閉会・点鐘

●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

17:00 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理ご夫妻・ご来賓紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
乾杯・祝宴
手に手つないで
閉会の言葉

20:00

オープニングコンサート
倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)



倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)

倉沢大樹 [ピアノ]

宇都宮市出身。1995年より毎年、ヤマハ音楽出版より作品集を出版するなど、アレンジャーとしても活躍。1998年長野冬季オリンピックでは、長野市内の「セントラル・スクエア」において行われた、スキー競技など屋外競技の表彰セレモニーの際のすべての演奏を担当。オリンピックを華やかに盛り上げた。1999年には、エレクトーン発売40周年を記念して発売したオムニバス版CDアルバムに、現在第一線で活躍中のエレクトーン・プレーヤー12人中の一人として参加。[Well you needn't]「朝日のようにさわやかに」の2曲を収録。マリリン・デュークエッセ、島田歌穂、PONTA BOX、大坂昌彦、東原力哉などと共演。現在は、全国各地でのデモ演奏やコンサートのほか、地元宇都宮では、ライブハウスでジャズ・ピアニストとしても活動中。

【ハッピートークプロフィール】

●フルート 稲見郁恵 宇都宮市生まれ。上野学園短期大学音楽科(フルート専攻)卒業。オーストリアに4年間留学。首都圏に於いて各種イベント、ホテルラウンジ、パーティー演奏、チャペル演奏等、クラシックをベースにポピュラーから民謡ユニット、JAZZまで多彩な演奏活動を行っている。●テナーサクソ 岡田嘉清 栃木県小山市出身。幼少より音楽に触れ大学からビッグバンドにてサクソをはじめる。ジャズの良き時代50、60年代を彷彿とさせる正統派なバップサウンドを持ちジャズ親父カラーの異名を持つ。またその音色をいかしたバラード、歌の伴奏の評価は非常に高い。●ベース 野中英士 栃木県高根沢町生まれ。ルーツ音楽院ベース科卒。東京芸術大学別科コントラバス専攻修了。現在はジャズグループでの演奏を中心に、コントラバスソロ(ジャズ&クラシック)にも情熱を傾けている。コンサート、ライブ、レコーディング、後進の指導などジャンルを越えて幅広く活躍中。●ドラム 青木孝之 宇都宮市生まれ。音楽専門学校時代は故・日野元彦氏、本田珠也氏に師事。現在、県内外でライブハウス、ホテル等で活躍の他、後進の指導にもあたっている。

9/28(日) 青少年の集い/地区大会 本会議 □会場／ライトキューブ宇都宮

●青少年の集い

9:30 開会の言葉
歓迎の言葉
ガバナー挨拶
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
趣旨説明
アイスブレイク
講演
パネルディスカッション
休憩
対話
対話の共有
総評
閉会の言葉
集合写真

11:40

●地区大会 本会議

12:20 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
物故者に対し黙祷
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理紹介
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
ガバナー挨拶並びに地区現況報告
RI会長代理挨拶並びにRI現況報告
大会委員会報告並びに上程
登録委員会・資格審査委員会
決議委員会・大会決議案採択
選挙管理委員会

記念講演
公益財団法人 結核予防会
理事長 尾身 茂
「ポリオ根絶ーロータリーの期待と感謝ー」

来賓祝辞

栃木県知事 福田 富一様
宇都宮市長 佐藤 栄一様

記念事業目録贈呈

①栃木県 輝くとちぎの人づくり推進基金へ
②宇都宮市 宮っこの居場所づくり事業へ
③ロータリー財団
④米山記念奨学会
RI会長代理祝辞
ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介

各種表彰

記念品贈呈

RI会長代理ご夫妻・直前ガバナー・
地区幹事・直前会計長
ガバナーエレクト・ガバナーノミニ紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニ挨拶
次期地区大会開催ホストクラブ
代表挨拶
RI会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
閉会の点鐘

●アフターパーティー

17:30 開会の言葉
乾杯
歓談
18:30 中締め



記念講演 講師

尾身 茂 Shigeru Omi

生年月日 1949年6月11日

現 職 ・公益財団法人結核予防会 理事長、代表理事
・名誉世界保健機関(WHO) 西太平洋地域事務局長
・独立行政法人 地域医療機能推進機構 名誉理事長
・自治医科大学名誉教授
・日経・FT感染症会議 議長
・ロータリー・ポリオ根絶大使

【職歴】 1967年:東京教育大学附属駒場高等学校(現在筑波大学附属駒場高等学校)に在学中にAmerican Field Service(AFS)の交換留学生として、1年間アメリカに留学。1978年:自治医科大学卒業(一期生)。1978-1987年:東京都立墨堤病院に於いて多科ローテーション臨床研修修了後、伊豆七島を中心に地域医療に従事。1987-1989年:自治医科大学予防衛生学教室助手。1990-1998年:WHO西太平洋地域事務局にて拡大予防接種課長、感染症対策部長などを歴任(西太平洋地域の小儿麻痺根絶対策などで陣頭指揮)。1999年2月:第5代WHO西太平洋地域、地域事務局長(SARS:重症急性呼吸器症候群の制圧及び各加盟国の地域医療対策や結核対策等で陣頭指揮)。2009年5月:日本政府新型インフルエンザ対策本部専門家諮問委員会委員。2014年4月-2022年3月:JCHO理事長。2016

年6月:国際健康危機タスクフォースのメンバー(国連総長からの要請)2020年2月:新型コロナウイルス感染症対策専門家会議副座長。2021年4月:新型インフルエンザ等対策推進会議新型コロナウイルス感染症対策分科会分科会長。2022年4月:公益財団法人結核予防会代表理事、JCHO名誉理事長。2022年6月:公益財団法人結核予防会理事長、代表理事 現職
【著書等】 ◎『パンデミック(H1N1)2009ー我が国の対策の総括と今後の課題ー』公衆衛生Vol.74(8)医学書院 2010 ◎『医療の輪が世界を救う』『(医の未来)』(2011岩波新書・矢崎義雄編)第5章 ◎『WHOをゆく』医学書院 2011 ◎『1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録』日経BP 2023

トップページへ
戻ります

コーディネーター
NEWS

2025年8月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

美味しい、楽しい、優しい台北

台北国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子 (札幌北RC)

台北は、日本から大変近く多くの友人がいる国際大会の舞台です。歴史ある文化、美味しい料理、そして人々の温かさ.....そのすべてが、訪れる私たちをやさしく迎え入れてくれます。2026年6月13日から17日まで、台北ドームを中心に開催される「2026年ロータリー国際大会」では、世界中からロータリー会員やロータリーファミリーが集い、友情と奉仕の精神を分かち合い、国際的なつながりを深めます。

主なプログラムは以下の通りです。（すべて台北ドームにて開催）

- 6月14日（日）：開会式（午前・午後の2回）
- 6月15日（月）：全体会議（午前）
- 6月16日（火）：全体会議（午前）
- 6月17日（水）：閉会式（午後）

また、RI理事主催による親善朝食会も予定されています。

- 日時：2026年6月14日（日）7:00 AM
- 会場：圓山大飯店（Grand Hotel Taipei）12階

台北国際大会への登録は【My Rotary】から可能で、登録期間によって参加費が異なります。早めの登録がお得ですので、ぜひこの機会にご予定ください。お一人でも、ご家族やクラブの仲間とでも、台北での貴重な体験を楽しんでいただけることと思います。

なお、2026年台北国際大会の日本地区チームは、以下のメンバーで構成されています。

- 第1地域：岡村陸美（第2770地区・川口RC）
- 第2地域：吉川公章（第2760地区・名古屋南RC）
- 第3地域：大橋秀典（第2660地区・東大阪東RC）

私たち日本チーム一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

All Japanで一緒に体験しましょう。

「大会登録はこちらから」

(My Rotary 登録ページ：<https://convention.rotary.org/ja>)

コーディネーター
NEWS

2025年8月号 No.2

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

クラブサポートミーティングの目的について

第2地域 行動計画推進リーダー 桑澤 一郎 (茅野 RC)

25-26年度は、国際ロータリー会長が直前で交代するなど波乱の幕開けとなりました。しかし、会長代わりど方針変わらず、のメッセージも発信され、印刷物やバナーなどの取り替えが主な変更作業となっていることと思われます。

一方で日本のロータリーは、水野理事の力強い指導の下、継続性や独自の地域計画によって、地域リーダーによる積極的なサポート態勢が整っております。

地区組織や地域組織の役割は「クラブのサポート」であることは皆さん十分ご理解いただいておりますが、この十数年、社会情勢の急速の変化やコロナ禍を経て、人々の価値観も急速に変化する中で、「ロータリーも変わらなければならない！」とわかっていても「どう変われば良いのか」が見いだせておらず、いわば「あがいている」状態でもあるといえます。

世界的に一定の影響を持つようになったロータリーは、もっともっと世界を良くしよう、という方針を立て、実現のための戦略の第一優先を「数の力」、つまり「会員増強」と位置づけています。

闇雲な会員増強は、ロータリーやその基本であるクラブの根本を変えてしまう危険を含んでいます。ですから、実は慎重に進めなければなりません。一つの解は「衛星クラブ」です。

「エクスクルーシブ（排他的）なクラブからインクルーシブ（包摂的）なクラブへ変革しなさい」といわれても、「メンバーは選ばれたエグゼクティブの集団である」ことに価値を見出している会員も多くいます。

「例会出席や寄付は成功と余裕の証であり、そうした仲間との交流がロータリーに属する価値」である会員が多数いることも事実です。そこに若い人、様々な立場の人をいれて「インクルーシブになれ」といわれてもそんなに簡単には変わりません。

インクルーシブなクラブになる一番の方法が衛星クラブの創立です。ローターアクトクラブでも良いでしょう。若く、汗をかく奉仕活動に意欲のある人たちをメンバーとして迎え、彼らを支援し「自分たちにはできない」地域社会の課題に取り組んでもらうことで、地域社会への影響力を向上させ、地域におけるロータリーの新しいブランドを作ることが出来ます。

今年度から「ガバナー主催のクラブサポートミーティング」や地域リーダー主催の「ガバナーサポートミーティング」が定期開催されます。ガバナーや地域リーダーは単に数字を追うだけではなく（しかし数字も大事です！）、是非こうした戦略的手法の提案で、実質的なクラブサポートに繋がっていただきたいと思っています。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

トップページへ
戻ります



コーディネーター NEWS

2025年8月号 No.3

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香 (岸和田東 RC)

カルガリーでの国際大会開会式で、ビル・ゲイツ(ゲイツ財団理事長)が「私達は今、岐路に立っています。今後数年間がポリオ根絶のカギとなります。全力を注がなければ、ポリオが無くなったと思っていた国で再発してしまう恐れがあります。根絶を完遂するには、政府、医療従事者そして、ロータリーの皆様の継続な取り組みが不可欠です！」今後三年間パートナーシップを更し取り組んでくださいます。

去年の末には、感染者数が増えポリオ根絶の「ラストマイル」は、依然として困難な段階です。今年1月、NHK BSで(国際報道2025 パキスタン根絶間近に見えたポリオ感染急拡大)番組が放映されました。もともと衛生状況が悪いうえ紛争、政治的混乱、気候災害、ハイリスク地域におけるワクチン拒否など、数々の課題による接種率の低下です。随分と長いよね。本当に根絶できるのだろうか?そのような声も聞こえます。尾身茂ポリオ根絶大使は、問題は『根絶されるのか?』ではなく、『いつ根絶されるか!』ということだと仰っています。ゴールは見えていないわけではない。見えております。



2025年4月21日から23日まで、アフガニスタンは今年最初の全国的なポリオワクチン接種キャンペーンを実施し、1100万人以上の子供たちに予防接種を行いました。これは隣国のパキスタンでのキャンペーンと同期しました。5月、アフガニスタンは2回目の全国キャンペーンを実施し、再びパキスタンと同期しました。この連続した調整は、高い感染シーズンを前に、免疫のギャップを埋め、ウイルスとの戦いを強化するのに役立ちました。アフガニスタンとパキスタンでの4月と5月のキャンペーンは、免疫力を高め、ウイルスのさらなる拡散を防ぐ重要な機会を提供しました。アフガニスタンのポリオ根絶プログラムは、すべての子供を守るために適応と革新を続けています。

日本では、95%の子供に母子混合ワクチンを接種しており、年間151億円もかかっています。日本では発症者ゼロですが、根絶しない限り接種は続けなくてはなりません。世界のどこかにポリオウイルスが存在する限り、ほかの国でポリオが再び発生する可能性があります。全世界への感染拡大リスクは無くなりません。ポリオ根絶の取り組みを今ストップしたら、今後10年間に毎年20万人の子供が身体まひを発症する可能性があります。ポリオプラスへの皆様のコミットメントと寛大な年間寄付は、ポリオの世界的な根絶に具体的な支援を提供し、世界の理解、善意、平和を促進します。

天然痘に次ぐ歴史上2番目の人間の病気を根絶する歴史的な機会は、手の届くところにあります。天然痘がそうであったように、1つの疾病を世界から根絶するのはとてつもなく大きな仕事で、一人でも多くの力が、必要とされています。特定の地域における徹底した定期予防接種、ほかの予防接種活動(キャンペーンなど)の実施、疾病のモニタリングやポリオウイルスを検知するための廃水のサーベイランス(監視)といった活動にも寄付金は使われます。最近の課題は、米国トランプ政権による予測不能な政策です。ロータリーは、寄付国政府から支援を確保するために、アドボカシーを行ってきました。

ファンドレイジングとは、「与えることの喜び」を人に教える方法です。

ヘンリー・ロッソ (インディアナ大学Lilly Family)

パキスタンにポリオワクチン投与に参加した折、30年間のロータリー歴でポリオにさせて頂いた寄付はこの様に使われているのだと感動いたしました。ストーリーテリングとは、物語を使って情報やメッセージを伝える手法のことを指します。ただ単に事実や数字だけを伝えるのではなく、感情を揺さぶるようなポリオ根絶活動や具体的な例(世界ポリオデー、フォトコンテストなど)を伝えることで、相手に印象を与え、共感を得たり行動を促したりする方法で、ファンドレイジング出来ればと考えております。

第3地域では全地区ポリオ根絶委員会を設けており、ご寄付や支援するための行事も考えておられます。第2640地区の和歌山南RCは全会員74名ポリオプラス・ソサエティ(PPS)に参加くださいました。敬意を表します。国際ロータリー75周年の年に子供たちへの約束をしたのですからワクチンで予防できる疾病に苦しむ子どもがあつてはなりません。国際ロータリーは揺るぐ事なく最優先事項「ポリオ根絶」に立ち向かっていきます。

Sequence

12 2025年6月会員数報告

(アルファベット順)

クラブ名	2024年7月1日	2025年6月30日	2025年6月30日
	会員数	会員数	女性会員数
足利	20	24	2
足利東	38	40	4
足利わたらせ	28	27	0
足利西	10	12	0
馬頭小川	15	15	0
今市	37	40	0
今市きぬ	26	25	0
岩舟	8	8	0
鹿沼	63	56	1
鹿沼中央	11	0	0
鹿沼東	41	44	7
烏山	14	13	2
黒羽	7	0	0
黒磯	33	32	3
葛生	39	38	0
益子	32	28	3
壬生	16	15	1
真岡	49	45	0
真岡西	38	39	5
日光	17	17	4
西那須野	43	42	3
大田原	19	19	2
大田原中央	21	17	1
小山	18	21	1
小山中央	23	24	2
小山東	22	22	0
小山北	24	26	0
小山南	15	16	2
佐野	47	49	0
佐野東	21	21	2
下野上三川	21	24	3
高根沢	11	12	1
田沼	43	44	0
栃木	43	43	6
栃木南	35	35	8
栃木西	29	28	0
氏家	27	27	3
宇都宮	93	94	4
宇都宮90	38	39	5
宇都宮東	102	96	0
宇都宮北	38	43	0
宇都宮さつき	23	21	4
宇都宮南	56	56	7
宇都宮西	64	65	0
宇都宮陽北	48	63	7
宇都宮陽南	19	18	5
宇都宮陽東	48	48	10
47RC	1533	1531	108
<RAC>			
足利東	3	4	
足利大学	16	14	
蔵の街とちぎ	5	5	
作新学院大学	25	4	
宇都宮東	4	5	
5RAC	53	32	

RC：各クラブよりご提出いただきました会員数報告を反映
 RAC：MyRotaryより

トップページへ
 戻ります

